

6月に米寿88歳を迎えた 信濃運輸グループ創業者 油井ひろ子顧問へ 特別インタビュー! *Special Interview*



信濃運輸株式会社 顧問
東京車検整備株式会社 代表取締役会長

油井ひろ子さん

会社と社員を牽引する
立場と母としての立場、
苦労はありましたか？

入学式に欠席することなく参加したことは、今でも良い思い出です。

なぜ夢中で走り
続けられたのでしょうか？

創業当時は不景気で大変な時代でした。共働きという概念はまだなく、仕事も家庭も全部をやらなければいけない、それが当たり前前だと思っていたので苦労と思ったことはありませんでした。子どもが身近にすることで私自身も安心感があったので、長女は背中におぶって仕事をしていました。長男のときはハンモックを天井から吊るして寝かしつけ、泣くと紐を引っ張って揺らしてあやしていました。今だと考えられないかもしれませんが、当時は夢中でしたから大変だったと感じたことはありませんでした。次女が生まれた時は、会社も一番安定していた時期でしたが、一度に

「小学校・中学校・高校入学」が重なり、時間に追われ四苦八苦しましたが、仕事のスケジュールをなんとかやりくりしながら、全ての

男性が多い業界で辛さや
働きにくさを感じたことは
ありましたか？

そもそも私が女だということを気にしていませんでした。仕事に夢中でしたし、社員一人ひとりをどうやって働き続けてもらうかとい

うことしか考えていませんでした。ですが、唯一女性を意識していた出来事があります。昔、江戸川区で開催されていた車検工場の新年会です。江戸川区の車検工場は当時数社ほどあり、そのなかで女性社長は私一人だけ。毎年着物を着て出席していたせいか、休むとすぐに知られてしまうので、絶対に休めませんでした。



今までもつとも
不安を感じたことは
ありませんか？

現在本社がある東京都江戸川区臨海町の土地を買いと聞いたときでしょうか。それは当時の臨海町は長靴を履かないと歩けないほど湿地帯で何もなかったから。その土地を主人が購入すると聞いたときは初めて不安を感じました。社

2015年クイーンエリザベス号にてカンボジア



屋を建ててから数年後、様々な企業の工場や社屋ができ始め、鉄道が通り、公園が建設されるまでに発展していきました。主人の先見の眼、判断には驚かされるとともに尊敬の念を抱いています。

逆に嬉しかったことや 印象深い出来事は ありますか？

本当に社員に恵まれたということ、これが一番嬉しいことです。また社員と関わることは私にとっても楽しいことでした。昔は個人的に話をする以外にも、若い夫婦を家に招いて私がお子さんの面倒を見たり、一緒に食事をしながら仕事だけでなく家庭の悩みを聞いたり、当時各家庭には無かったお風呂に入ってもらったりしたこともありました。時には長距離で走っているドライバーさんの代わりに、奥さんの出産に立ち会ったこともあれば、数えきれないくらい結婚

式の仲人も引き受けました。たくさんさんの社員の方たちの人生の門出や節目に立ち会えたことは、創業者冥利につきますね。現在はここまでの家族ぐるみの付き合いは無いでしょうが、過去のこういった出来事が、会社の雰囲気や文化が作られていく中で根源としてあるのかもしれない。

これからの信濃運輸に期待 することはありますか？

会長に一任していますので、みなさんが一生懸命頑張ってくれば良いなと思っています。ただ一つ言えることは長所を生かせる仕事をしてほしいということです。人間には必ず、良いところと悪いところがあります。これは私が今まで何千人と話してきた経験から感じることです。自身の長所や短所がわからない方は、自分一人で悩まずに上司や周囲の方に相談をしてください。必ず力になってくれます。

そしてもう一つ忘れてはいけなことは、健康第一です。みなさんの勇姿をいつも見えていますね。

最後に、 ひろ子顧問ご自身の 夢や目標を教えてください。

主人も好きだったので、昔はゴルフをよくやりました。夏は軽井沢、冬はハワイに行くことも。コースによっても違いますが、9ホールでスコアは35〜42でした。指導を受けたわけではなく自己流でしたが、主人とハズレ無しでやると私が勝っていました（笑）。勝ったときはゴルフ場で何かを買ってもらうことが私たちのルール。こういったやり取りも楽しかった思い出の一つです。健康が自慢でしたが、数年前から足が不自由になりゴルフができていません。今の目標は筋力をつけて、またゴルフクラブを握ることです。コロナが落ち着いたら、友人や息子や孫たちと麻雀もやりたいですね！



軽井沢でゴルフ



75歳から始めた社交ダンス



息子達に囲まれ.....麻雀



マスターズ観戦



ポーセリングの展示会